

お知らせ ギリガニ釣りに出かけよう

7月27日（日）

9時に南部町公民館さいはく分館駐車場に集合！乗り合わせて現地に向かいます。

ガイド：桐原真希さん（自然観察指導員）



アメリカザリガニは昭和初期に日本へ持ち込まれた外来生物！繁殖力が強く雑食性なので何でも食べてしまう。そのため、日本固有の生物にとっては危険な存在となる。丈夫なので飼育するのはそう難しい。持ち帰ったザリガニは繁殖を防ぐため、池や川などには放さないようにしましょう！

- <持って来ていただく物>
- ◆ザリガニを入れるケース、バケツなど
 - ◆タオル
 - ◆長靴（必ずお持ちください）
 - ◆虫よけスプレー
 - ◆着替え（濡れた時用）
 - ◆飲み物

大物賞・大漁賞を狙おう！！
各賞上位5名の方に賞品をご用意しています。
ザリガニの試食会もお楽しみに！

【雨天の場合】
外来種について学んだあとでザリガニの試食会

お問い合わせ・お申し込みは7月24日(木)までに
法勝寺地区地域振興協議会事務局まで！

※水分補給や帽子着用等、熱中症対策には充分注意してください。

- ふれあい福祉健康講座
- 魚のつかみどり体験

別紙チラシをご覧ください。

7月	日	時間	内容	会場
6日	(日)	8:30	バウンスポール大会	南部町民体育館
12日	(土)	13:30	ふれあい福祉健康講座	南部町公民館さいはく分館
23日	(金)	19:00	地域づくり部会	南部町公民館さいはく分館
27日	(日)	08:30	環境保全活動（ザリガニ釣り）	南部町内
28日	(月)	19:00	ふれあい部会	南部町公民館さいはく分館



法勝寺地区地域振興協議会
〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺 341 番地
TEL:0859)66-3121 FAX:66-4910

http://blog.zige.jp/sakuranosato/
E-Mail:sakura_hosshouji_1@yahoo.co.jp

広報

平成26年7月3日発行

さくらの里だより

法勝寺地区
地域振興協議会
総務企画部

第108号

鳥根県雲南市に学ぶ



<雲南市の地域自主組織作り>

平成16年11月に、旧5町1村で合併した雲南市では、43の「地域自主組織」が発足され、「市民が主役の自治のまち」を標榜に、それぞれ地域づくりに取り組まれています。

今回は日登地区の地域自主組織「日登の郷」の共通する問題点や課題、それらの解決策などの話をお聞きしました。

役員・部員・評議員 視察研修 6月21日(土)

参加された皆様から感想・意見など伺いました。ほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。

行政が積極的に参画している。1人1票制の取り組みが良い。	自分たちの思いと行動力について類似点が多く改めて今後の取り組みが大切であると感じた。	地域を何とかしようと思う人が多いように感じた。	人が集える場所が大切だと思った。
スポンサーがハードを、地域がソフトを提供して成り立っている。	皆さんが一丸となって活動され、南部町の足りない所が多くみられた。	個人の思いが地域を変えるんだということがわかった。	学ぶところがたくさんあり大変勉強になった。今後活かせるようにしたい。
			肩の力を抜いての活動に「そうあるべきだ」と感じた。

しろみてまつり

【福頼】



福頼集落では毎年、田植えの終わるこの時期に「代満（しろみて）まつり」を開催します。今年も、6月8日（日）に第16回福頼代満まつりが盛大に開催されました。今年は今までと違い、福頼ふれあい部さんが中心となり、皆で「福頼おこわ」作りに挑戦しました。子どもからお年寄りまでが一度に揃う、年に一度の集まりに夜遅くまで楽しいひと時を過ごしました。

福頼：増田 伸一

災害図上訓練 (DIG) 実施

【馬佐良】



地図の上で道路・川・避難場所・消火栓等に印をつけていきます。



そこから見えてくる馬佐良の強み・弱み・災害時に何をすべきかを話し合い、発表します。

「いきいきサロンばさら」にて法勝寺地区で初めて図上訓練を実施しました。戸惑いと不安がありましたが、協議会の方のサポートを受け、まずはやってみました。皆さんへの案内は「西部地震を語ろう」でした。あれから14年たち、風化しつつある「防災意識」を今一度向上させようと企画しました。幸い参加者の方は体験者が多く、現状にあった行動や考え方（高齢者の今・道や建物などが変わった事）が話され、これからの集落のあり方にとても参考になりました。いざという時は人が支え助ける。「馬佐良は人情が最大の強み」

馬佐良：大江 正則

延命地蔵

【落合】



温かな顔、そして笠をかぶった非常に珍しいこのお地蔵さんは、高さ3.5メートルもある延命地蔵であり、落合バス停地蔵前の路傍にあります。

江戸時代後期、長寿寺七世賽山道林和尚の時代に松江の石工文助が刻んだものと言われている。縁日は8月24日であるが建立の由来は不明である。その後、明治の中頃、落合川に沈んでいたのを引き上げて再建したが破損がひどく、台石の刻文などは判読できなかったということである。

「このお地蔵さんを信仰すればご利益があってお前の病気も治る」というお告げを受けた人が、朝・ター心に信仰したところ全快したという。その話がたちまち広がり信仰者が激増した。以後、毎年縁日には近在はもとより、日野・出雲から参詣者が押し寄せ、道の両側には露天商がずらりと並んだ程であったという。

落合上：古川 豊一

吾菜園の珍客

【鴨部】



私、長年家庭菜園で野菜を育てていますが、今年はジャガイモの木にトマトのような実が生っていましたが、不思議に思い友人に問い合わせたところ、自分は毎年、幾つかの実が生るそうです。調べて見ると、そんなに不思議なことではないようです、その身を切った写真も載って居り、切り口はトマトのような感じでした、皆さんのお家の菜園ではいかがでしょうか？もし珍客さんが現れましたら法勝寺地区地域振興協議会までご連絡くださればと思います。

上鴨部：松浦 文紀

ちまきを作って交流会

6月13日(日曜日)



米子市法勝寺町との交流も3年目となった今年。米子から24名お越しいただきました。また、新たな試みとして、南さいはく地域振興協議会との交流も兼ね、総勢75名のちまき作りとなりました。ふれあい部の「豚汁」と「ぜんざい」も大好評で、残ることなく皆さんのお腹の中に納まりました。腹ごしらえした後は、南さいはくへ移動してイモ苗植えをしました。

小学校の農業体験



5月の青空の下、西伯小農業体験事業が行われました。17日（月）は1・2年生のイモ苗&夏野菜植え、22日（木）は5年生の田植えが行われ、おじさんおばさんたちに教えてもらいながら、みなさん上手に植えました。収穫が楽しみです。農業体験を通して、食べ物や作り手への感謝の気持ち、育てることの楽しさを育ててほしいです。